

みんなで考える 防災道の駅



福山大学 都市・建築計画学研究室

IDEA

「適切な避難行動を実践することが県民の当たり前の文化になる。」という広島県の課題に対し、防災機能を備えた道の駅を提案し、地域住民が日常的に訪れたいくなる施設を計画しました。また、防災道の駅をどの場所に建て、どのような空間をつくるか考えること自体も減災に繋がると考えています。

EVIDENCE

広島県のDoboXデータを用いて、防災道の駅を建てるために適切な敷地を検討しました。災害リスクが少なく、避難施設が十分でない場所を計画地に選定し、国道や緊急輸送道路といった交通利便性も考慮しました。



災害リスク情報	
土砂災害警戒区域 土石流	黄色
土砂災害警戒区域 地すべり	オレンジ
土砂災害警戒区域 がけ崩れ	ピンク
土砂災害特別警戒区域 土石流	赤
土砂災害特別警戒区域 がけ崩れ	緑
津波災害警戒区域	青
緊急輸送道路	灰色

PROPOSAL

今回私たちは広島県が行う減災の取組やデータについて学修し、防災道の駅を計画するという建築的プロセスにより解決策を検討しました。施設を建てることだけが避難率の向上につながるのではなく、避難しようと思える場所を考えるプログラムの実施そのものに効果があると感じました。



防災道の駅のCGパース